

平成24年2月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 津 谷 聡

公 明 党 堀 井 明 美

共 産 党 佐 藤 純 子

社 会 ・ 市 民 連 合 長 澤 孝 政

秋 水 会 岩 谷 政 良

秋 水 会 鎌 田 修 悦

1 市長の政治姿勢について

(1) 平成24年度の成長戦略及び新規事業について

ア 地域産業の競争力強化における新規事業として、買い物弱者支援ビジネスモデル構築事業を立ち上げることとしているが、本市における買い物弱者の現状と課題をどうとらえているのか

(2) 平成23年度包括外部監査について

ア 包括外部監査の結果をどのように受けとめているのか、また、指摘事項や意見に対する取り組み方針はどうか

(3) 被災地支援に対する基本姿勢について

ア 災害廃棄物の受け入れに当たっては、事前の安全確認を行い、燃焼試験後のデータを踏まえ、速やかに取り組むべきと思うがどうか

イ 竿燈まつり被災者招待事業は、招待者から非常に喜ばれた事業であったが、新年度において類似した事業を行う予定はあるのか、また、その内容はどうか

2 個人情報の保護について

(1) 市立小学校におけるUSBメモリー紛失事故を受け、「秋田市立学校における個人情報の取扱い」が策定され、校長を個人情報管理責任者とするなど、校内の管理体制の強化が図られたが、これで万全と考えているのか

(2) 市長事務部局における個人情報の保護対策は見直したのか

3 新庁舎建設工事の事業手法について

(1) 本市で試行している総合評価落札方式の評価方式をもとに、新庁舎建設工事にふさわしい評価方式等を検討しているとのことであるが、地域貢献度、独創性、地場産品の調達実績など価格以外の要素のウェートを高め、市内企業に活躍の場を与えるべきと考えるがどうか

(2) 地方経済が疲弊している中、地元建設業界の育成はもとより、市内

商工業の活性化を図ることが本市の責務と考えるがどうか

4 秋田港へのアクセス道路の整備について

- (1) 秋田北インターチェンジと秋田港を結ぶアクセス道路の整備方針について

5 中心市街地の活性化に向けた交通環境の整備について

- (1) 秋田市自転車等駐車場条例に基づき設置している3カ所の駐輪場について、アトリオン広場地下自転車駐車場のみ無料化することは、著しく公平感を欠くことになると思うがどうか
- (2) 秋田駅周辺の活性化のためには、自転車の乗り入れによる来街者の増が必要不可欠と考えるがどうか
- (3) 第6次秋田市総合都市計画において、秋田駅前駐輪の規制緩和等を検討するとしているが、検討状況はどうか

6 アゴラ広場からエリアなかいちまでの空間整備について

- (1) アゴラ広場に大屋根等を設置し、全天候型のイベント広場として整備できないか
- (2) 仲小路へのアーケードの設置について、本市では、地元の合意形成が得られれば支援したい旨の見解を示しているが、仲小路振興会など地元商店街に対する意識調査は行っているのか
- (3) アゴラ広場からエリアなかいちまで、秋田スギを活用したアーケードを設置する考えはないか

7 消費者行政について

- (1) 消費者被害の実態を的確に把握した上で有効な防止策を検討しているのか、また、市民に対する具体的な取り組みをどう考えているのか
- (2) 消費者被害の防止は可能と考えているのか

8 市民生活の安全・安心の確保について

- (1) 市営住宅の入居申し込みや生活保護の受給申請の際、暴力団関係者であるか否かの実態を調査しているのか、また、その方法はどうか
- (2) 暴力団に血税を渡さないという意気込みを全職員に徹底する必要があると思うがどうか

9 児童厚生員について

- (1) 児童厚生員の報酬や勤務条件を総合的に検討していくとしていたが、平成24年度において待遇改善は図られているのか
- (2) 新規に採用した児童厚生員の養成について

1 平成24年度予算について

- (1) 市長の描いている将来都市像について、今後、想定される大規模な事業の計画はあるのか
- (2) 当初予算における、経常収支比率及び実質公債費比率はどのくらいか、また、それをどのように認識しているのか
- (3) 市長の任期最終年の予算となるが、就任時の決意がどのように反映され、次のステップへ進む思いがどのように込められているのか

2 あきたスマートシティ・プロジェクトについて

- (1) プロジェクト導入の経緯及び特徴について
- (2) プロジェクトの実現には市民や地元企業の参画が重要であり、その周知手法には工夫が必要と考えるが、どのように取り組んでいくのか、また、地元への経済波及効果をどう見込んでいるのか
- (3) ITを駆使したグローバルな構想であることから、今後、進められていく過程を、環境学習の一環として取り入れる考えはないか
- (4) 東日本大震災の被災地である岩手県大槌町からスマートシティ情報統合管理基盤を共同利用したいと打診があったが、承諾した経緯と連携の効果を含め、復興支援の思いはどうか
- (5) 市有施設に対し省エネルギーサービスを提供し、得られた効果の一部を対価として受け取る地域ESCO事業の活用を計画しているが、具体的な内容とその効果はどうか
- (6) 具体化しているスマートシティ情報統合管理基盤や地域ESCO事業以外の個別プロジェクトについて、平成24年度に実施される主な取り組みはどのようなものがあるのか

3 高齢者福祉の充実について

- (1) 地域包括支援センターについて
 - ア 今後の整備計画について

イ 本市に対する要望や地域課題について

ウ 新たな体制強化策について

エ 地域の元気な高齢者や民生委員、ボランティア等のネットワーク構築のさらなる強化を図るべきでないか

オ 見守りについて、地域内の店舗や消防署、医療機関など社会資源の活用による、本市独自の施策を考えるべきではないか

(2) 介護保険制度について

ア 介護報酬改定案の基本的な考え方において、在宅介護のしやすい環境がこれまで以上に整うようであるが、ひとり暮らしの高齢者や重度の要介護者を抱える家族にとって朗報と考えられるのか

イ 介護報酬はプラス改定となるものの、介護職員の給料水準は依然として低く、離職者が絶えない現状をどう認識しているのか

ウ 介護保険料の今後の見通しについて

エ 超高齢社会を前提とした介護給付と保険料負担のあり方について

(3) 第2次秋田市地域福祉計画について

ア 進捗状況はどうか、また、次期計画策定に向けてどのように見直しを行っていくのか

(4) 成年後見制度について

ア 本制度の利用促進のための周知が重要と考えるが、本市の取り組みの現状及び課題について

イ 成年後見人の人材育成について

4 男女共同参画社会について

(1) 平和社会の実現と男女共同参画について

(2) 機構改正において、男女共生担当を企画調整課から、市民協働・地域分権推進課に所管がえした経緯と考え方について

(3) 本市におけるこれまでの男女共同参画をどのように総括し、第4次秋田市男女共生社会への市民行動計画にどのように反映させるのか

(4) 本市における男性の育児休業取得率の実態と、男女共同参画をリードすべき市職員における実態はどうか

- (5) 本市の女性の活躍度を向上させる取り組みについて
- (6) 本市における管理職や各種審議会委員等への女性の登用促進について
- (7) あらゆる分野における制度や慣行が男女の区別のない、「市民共生社会」の実現について、展望と長期的な取り組みをどう考えているのか

5 災害対策について

- (1) 災害対策における女性の視点について

ア 秋田市防災会議における女性委員の登用について、どう認識しているのか、また、女性の登用を進めるため、どのような方策が考えられるのか

イ 地域防災計画の見直しに当たり、女性の視点をどのように反映するのか、また、男女共生・絆づくり担当との連携をどうするのか

ウ 緊急救援物資の備蓄計画について、女性や高齢者の視点で見直しをしたのか

エ 秋田市災害時要援護者の避難支援プランの見直しにおいて、女性の視点を反映する考えはあるのか

- (2) 災害時における家具転倒防止など、生活に密着した身近な対策の啓発について

- (3) 小中学校における防災教育の具体的な取り組みについて

6 空き家対策について

- (1) 実態把握の必要性及び調査の手法について、どのような検討をしたのか

- (2) 条例制定を含め一歩踏み込んだ対応が必要と思うが、本市の考え方と今後の対応はどうか

7 教育行政について

- (1) 特別な支援を必要とする児童生徒について

ア 通常学級に在籍する発達障がいを持つ児童生徒に対する学校現場での対応について

イ 指導に当たる教員等の資質や能力の向上のため、どのような研修を行っているのか、また、その研修がどのように生かされているのか

8 自殺対策について

(1) 秋田市自殺総合対策について、取り組みをさらに強化することとしたが、これまでの対策に対する手ごたえはどうか

(2) 自殺対策をさらに進めていく中で、全庁的な対応が必要と考えるかどうか

(3) 深刻な経済問題を抱えた自殺者が減少していることは、民間団体を含む社会全体での取り組みの結果ととらえているかどうか

(4) 寄り添いホットライン秋田に対する認識はどうか、また、どのような期待を持っているのか

9 市民の相談体制について

(1) 相談体制の充実を図る目的で、市民相談室と消費者センターの窓口を一体化した成果及び他の相談関係機関との連携について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 社会保障と税の一体改革により、市民にどのような影響が出ると考えているのか
- (2) 野田政権のＴＰＰ交渉参加について、市長として参加すべきでない
と意思表示をする考えはないのか
- (3) 公的責任をなくす、子ども・子育て新システム導入についての市長
の見解はどうか

2 市立秋田総合病院の経営形態の見直しについて

- (1) 総務省の公立病院改革ガイドラインに沿った市立病院の経営形態の
見直しでは、市民病院の使命と役割は果たせないのではないか
- (2) 市立病院の経営形態の見直しは、公立病院改革ガイドラインに縛ら
れることなく、市民病院としてのあり方を、多くの市民参加のもとで
検討すべきではないか

3 安心・安全な学校給食について

- (1) 学校給食に使用されるすべての食材の放射性物質検査を実施すべき
と思うがどうか
- (2) 学校給食の地場産食材の供給拡大を図るため、年次ごとに使用率の
目標値を定め、使用率向上を図るべきではないか

4 エネルギー政策について

- (1) 原子力発電からの撤退を国に求める考えはないのか
- (2) 本市における再生可能エネルギーの自給率を高める施策を講ずるべ
きではないか
- (3) ペレットストーブの普及について
 - ア ペレットストーブ購入への助成制度を創設する考えはないのか
 - イ 市内の業者がペレットストーブを生産できるよう、市が積極的に

協力すべきと思うかどうか

5 家庭系ごみの有料化について

- (1) 市民説明会では、依然として有料化への疑問や反対意見があり、市民理解は得られていないと思うかどうか
- (2) 7月からの有料化の実施は凍結・延期すべきではないか

6 子ども・若者育成支援推進法の具体化について

- (1) 法律の内容をどう受けとめているのか
- (2) 支援計画を作成し支援を進めるべきではないか
- (3) 引きこもりなど社会参加が難しい子供や若者の実態を把握し、支援体制を確立すべきと思うかどうか
- (4) 社会参加が難しい子供や若者の相談窓口を設置する考えはないのか
- (5) 支援が必要な若者に自立促進のため、仕事ができる機会を提供すべきと思うかどうか

7 男女共生社会の確立について

- (1) 本市の女性職員の管理職への登用をどのように高めていくのか
- (2) 本市の審議会や委員会などへの女性登用の状況を示す女性公職参画率の現状をどう受けとめ、今後、どう取り組んでいくのか

8 地域の諸課題について

- (1) 雄和火葬場の廃止に伴い、地域住民への負担軽減のための助成制度を検討すべきではないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 国、県の平成24年度予算案に対する認識について
- (2) 放射能問題に対する認識について
- (3) 上下水道事業の公営原則による本市直営を堅持し、技術継承及び人材育成に取り組むべきと考えるかどうか

2 除排雪について

- (1) 平成18年豪雪を教訓とした道路除排雪対策本部の組織体制について
- (2) 除排雪機械等について
 - ア 全市一斉除雪時に実際に稼働できる除排雪機械は何台あるのか、また、作業完了までにどのくらいの日数を要しているのか
 - イ 町内会等への貸出小型除雪機械は何台あるのか、また、今冬の貸出状況はどうか
- (3) 高齢者世帯等への支援について
- (4) 除排雪に対する要望・苦情件数及び内容はどうか、また、どのように対応したのか

3 東日本大震災で発生した放射性物質を含む災害廃棄物の広域処理について

- (1) 災害廃棄物を搬入する場合の安全対策について
- (2) 本市の熔融炉で災害廃棄物を処理する場合の混焼率を15%とした理由について
- (3) 災害廃棄物燃焼試験の具体的な内容はどうか、また、結果を市民へどのように周知するのか
- (4) 受け入れを最終判断する条件及び時期について

4 職員が元気に働ける職場環境について

- (1) 職員のメンタルヘルス対策への取り組みについて

(2) 県都『あきた』定員適正化プランについて

ア 平成24年4月1日時点の目標値及び実績見込みについて

イ 計画を見直し、これ以上の職員削減をやめるべきではないか

(3) 外郭団体の事務について

ア 本市が取り扱っている外郭団体の事務のうち、出納事務まで取り扱っている事例はどのくらいあるのか

イ 外郭団体の事務の取り扱いを縮小するなど、職員の負担軽減を図る方策について検討すべきではないか

5 史跡秋田城跡について

(1) 史跡公園は今後どのように整備されるのか、また、史跡秋田城跡歴史資料館（仮称）建設のめどはいつごろになるのか

(2) 秋田城跡の土地公有化の現状及び今後の取り組みについて

6 大森山動物園の将来像について

(1) 雪の動物園の入園者数の推移はどうか、また、本イベントをどう評価しているのか

(2) 雪の動物園を発展させての通年開園について

(3) 整備予定の大屋根ビジターセンター（仮称）をイベント等にどう活用していくのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) あきたスマートシティ・プロジェクトの地域経済への貢献について
- (2) 元気な秋田市づくりに向けた組織について
 - ア 連携推進官の配置による成果について
 - イ （仮称）担当官について
 - ウ 市職員の元気を引き出す方策について

2 除排雪について

- (1) 昨年度の検証を、今年度の除排雪にどう反映させたのか
- (2) 今年度の道路除排雪について、費用を含め、どうとらえているのか
- (3) 市民一人一人が担う役割について、どのように市民理解を得ていくのか
- (4) 除排雪状況の地域間格差をどう認識し、どのように改善策を講じていくのか
- (5) 市民協働による除排雪のモデル地区における成果及び問題点はどうか、また、これまでの検証結果をどう生かしてきたのか
- (6) 他都市の先進事例を取り入れるなど、除排雪の根本的な見直しが必要と思うがどうか

3 防災について

- (1) 県の地震被害想定調査を受けた本市独自の津波ハザードマップは、いつをめどに作成するのか
- (2) 秋田市災害対策基本条例の名称が、当初案から二転三転したのはなぜか
- (3) 市民に防災情報を提供し、防災意識の高揚を図るためにも、津波浸水予測地域などに位置する公共施設等に標高表示すべきと思うがどうか
- (4) 災害時の要援護者への対策について

ア 要援護者対策における秋田市災害時要援護者の避難支援プランの位置づけと意義について

イ 秋田市災害時要援護者の避難支援プランに基づく取り組みの進捗状況について

ウ 秋田市災害対策基本条例とのかかわりについて

(5) 小中学校における災害対応マニュアルの策定について

4 地域力の強化について

(1) 地域のきずなづくりのために、これまでどのような事業を実施してきたのか、また、これまで以上に強いメッセージを発信すべきではないか

(2) 地域づくり交付金の新設による成果と課題をどのようにとらえているのか、また、平成24年度は支援を一層強化する考えはないか

(3) 地域の情報を迅速に把握するとともに、町内会との連携を図るためにも、地域情報員の役割を拡大し、通年制にする考えはないか

5 教育行政について

(1) 小中一貫した考えに立った教育の推進状況について

ア これまでの取り組みの成果について

イ 岩見三内小学校及び岩見三内中学校における教育活動について

1 秋田市総合環境センターについて

(1) 震災瓦れきの受け入れについて

- ア 震災瓦れきを受け入れる場合、施設の処理能力の観点から、どのような方法で処理することを想定しているのか
- イ 受け入れ総量はどの程度を想定しているのか
- ウ 震災瓦れきを処理した場合は、最終処分場について、どのような影響があるのか

(2) 施設の電力について

- ア 使用量より発電量が多いのに、買電している理由は何か
- イ 施設全体の使用電力を買電した場合、電気代は幾らになるのか
- ウ 実質的な廃棄物発電の本市への貢献について
- エ 売電先企業や売電単価の決定方法及び売電金額の推移はどうか

(3) 溶融処理について

- ア スラグ及びメタルの売却先と売却金額はどうか
- イ 処理量と溶融物の発生量には関連があるのか
- ウ コークスの年間使用量、購入金額及び購入方法はどうか

(4) 施設の今後の改修計画とその概算額、改修に関する課題とその対応策について

(5) 震災瓦れきの処理に要する費用については、試算しているのか

2 上下水道事業について

(1) 上水道における耐震管の普及率はどうか、また、今後、上下水道管の耐震化を進める場合の費用はどれくらいになるのか

(2) 本市の上水道の放射能レベルについて

(3) 上下水道料金について

- ア 料金はどのような方法で設定されているのか
- イ 全国的に見てどの位置にあるのか
- ウ 今後、少子高齢化が進めば、どう見直すのか

- (4) 多額の企業債を抱えた上水道・下水道事業の今後の見通しについて
- (5) ダム使用权について

- ア このダムから、どれくらいの水量を幾らの金額で取水しているのか
- イ ダム使用权の最初の契約金額は幾らか、また、その根拠は何か
- ウ 減価償却は、どのような償却方法なのか
- エ 今後、取水量の減少に伴う契約の見直しなどはできるのか

3 包括外部監査の結果及び措置状況について

(1) 道路橋梁等の維持管理業務について

- ア 本市が所管する橋梁数及び維持管理方法はどうか、また、点検は業者委託なのか
- イ 点検の結果、緊急を要する補修箇所の指摘があるにもかかわらず、何ら対策を講じていないと意見されているが、現在どのように処理されているのか

(2) リフレッシュガーデン用地の評価及び台帳管理について

- ア 台帳には割賦利息相当額を除外して登載すべきと指摘されているが、現在はどうか
- イ 平成21年に価格改定を行っているが、改定の理由と大幅に下がった理由は何か

(3) 秋田市職員互助会の運営状況について

- ア 互助会の正味財産 6 億円（平成21年度末現在）については、市が実施する福利厚生事業の財源等として活用するための協力を求めていくとしているが、現在の状況及び今後の方針はどうか
- イ 互助会規約に残余財産の取り扱いに関する規定を盛り込むよう求めていくとしているが、現在の状況及び今後の方針はどうか
- ウ 貸付事業について、法的問題の解消に努めるよう、互助会に求めていくとしているが、現在の状況及び今後の方針はどうか
- エ 適切な決算書の作成について、よりわかりやすい決算書を作成するよう、互助会に求めていくとしているが、現在の状況及び今後の

方針はどうか

オ 互助会は一たん解散し、新たな一般社団法人として再出発することが考えられると意見されているが、今後の方針はどうか

(4) アルヴェ駐車場事業における市負担金の算定方法について

ア パーク24株式会社との駐車場事業契約に当たり、管理運営費用の積算基礎に誤りがあると指摘されているが、その詳細と協議結果はどうか

イ 平成16年度以降の市負担金の過大支出分は、1,347万9,000円と算定できると指摘されているが、この処理はどうなったのか

ウ 駐車場負担金についての協議の中で、管理運営費用の実績との乖離についても検証・確認を行っていくとしているが、その結果はどうか

(5) 一般廃棄物収集運搬業務について

ア 収集運搬業務の委託料の積算について、収集量の年間平均値で再計算した場合、回収車の剰余台数が6台、金額にして約8,850万円になると意見されているが、どのように対応するのか

イ 粗大ごみ収集運搬業務について、トラックの庸車で計算した場合、年間3,930万円の委託料が2,470万円程度で済むと意見されているが、どのように対応するのか

ウ 資源化物収集運搬業務について、トン当たりの収集コストが家庭ごみと比較すると極めて高く、また、財団法人秋田市総合振興公社に河辺雄和地区もあわせて委託することがより効率的であると意見されているが、どのように対応するのか

4 教育について

(1) 小中学校の35人学級に対する考えについて

(2) 中学校における武道必修化への対策について

(3) 教員免許更新制度について

ア 本市において免許失効事例はあるのか

イ 同制度に対する教育委員会の考え方と課題はどうか

(4) 大阪府教育基本条例案に対する評価について

(5) 教員の精神疾患について

ア 本市の状況と相談窓口はどうか

イ 罹患の原因をどのように認識しているのか

(6) 過度な個人情報保護に対する感想について

5 空きビル対策について

(1) 空きビルとなっている市内のビジネスホテルについて

ア 所有者もしくは管理者は今後どうするつもりか、市として把握しているのか

イ 建物の耐震性等について、心配はないのか

(2) 行政として、何らかの指導や勧告はできないものか

(3) 地震による倒壊などが発生した場合、被害者への賠償責任が本市に及ぶ可能性はないのか

6 漂着ごみ対策について

(1) 本市における処理費用の予算化について

7 自動体外式除細動器について

(1) 本市においてトラブルの発生事例はあるのか

(2) 公共施設における管理状況はどうか

8 地域木材の利用促進について

(1) 県の県産材利用推進方針に基づく木材利用推進方針の策定について

(2) 新庁舎建設における木材利用について

ア 公共建築物等木材利用促進法の趣旨に沿った設計になっているのか

イ 内装、備品及び消耗品には地元産木材を利用すべきではないか

ウ 森林・林業・木材産業づくり交付金の利用は考えているのか